

# CDP-S105

JA

## 取扱説明書



電源の準備



電源の入れ方、切り方



ペダルを使う



ヘッドホンを使う



音色を選んで弾く



音高を半音単位で変える  
(トランスポーズ)



音高を微調整する  
(チューニング)



デモ演奏を聴く



音色に効果をかける  
(エフェクト)



スマートデバイスと  
リンクする(APP 機能)

# 目次

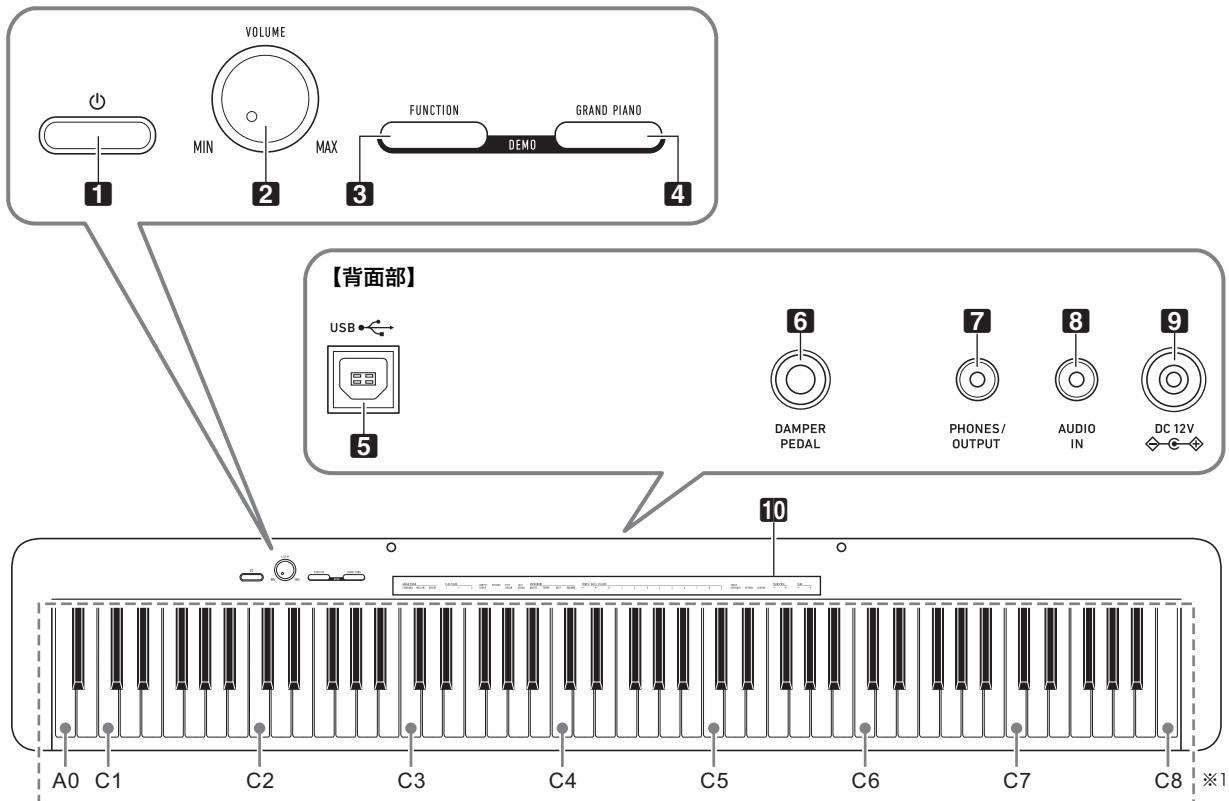
<b>本機の概要と使用前の準備</b>	<b>2</b>
各部の名称	2
電源の準備	3
電源の入れ方、切り方	5
本機を工場出荷時の状態に戻す	6
ペダルを使う	6
ヘッドホンを使う	6
<b>本機の操作</b>	<b>7</b>
デモ演奏を聴く	7
デモ曲リスト	7
音色を選んで弾く	7
音色に効果をかける(エフェクト)	8
メトロノームを鳴らす	9
スマートデバイスとリンクする(APP 機能)	10
<b>設定を変更する</b>	<b>11</b>
鍵盤の感度を変える (タッチレスポンス)	11
音高を半音単位で変える (トランスポーズ)	11
音高を微調整する(チューニング)	12
通知音の設定を変える	13
MIDI 設定を変更する	13
<b>外部機器と接続する</b>	<b>14</b>
オーディオ機器と接続する	14
パソコンと接続する	15
<b>資料</b>	<b>16</b>
困ったときは	16
製品仕様	17
音色リスト	18
鍵盤機能一覧	19
<b>MIDI インプリメンテーション・チャート</b>	

## 本書の内容について

- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

# 本機の概要と使用前の準備

## 各部の名称



1 ⏻ (電源) ボタン

音量

2 VOLUME つまみ

ファンクション

3 FUNCTION ボタン

グランドピアノ

4 GRAND PIANO ボタン

ユーチューブスピーカータイプ B

5 USB Type B 端子

6 DAMPER PEDAL 端子

ダンパー・ペダル

7 PHONES/OUTPUT 端子

オーディオ出力

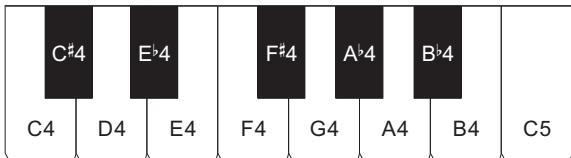
8 AUDIO IN 端子

9 電源端子 (DC 12V)

10 鍵盤の機能名<sup>※2</sup>

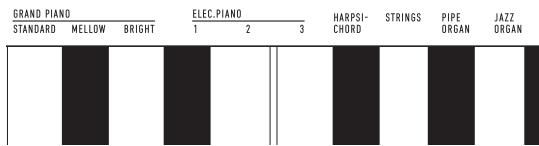
**※1 鍵盤の音名と音高について**

本書では鍵盤の音名と音高を国際式(中央ド=C4)で表記しており、一番低いドの鍵盤を「C1」、一番高いドの鍵盤を「C8」と呼びます。各鍵盤の音名表記は下記のとおりです(図はC4からC5までの例です)。

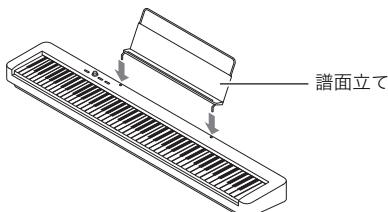
**※2 鍵盤の機能名について**

音色を切り替えるなどの操作時は、特定の鍵盤を

**③FUNCTIONボタンと併用します。**各鍵盤に割り当てられている機能の多くは、鍵盤上部の印刷で確認できます。例えば音色鍵盤(C3~A3)の上部には、各鍵盤を使って選べる音色名が印刷されています。

**参考**

- 鍵盤に割り当てられている機能の一部は、鍵盤上部に印刷されていません。すべての機能割り当てについては、[19ページ「鍵盤機能一覧」](#)をご参照ください。

**■譜面立ての準備****電源の準備**

本機は電源としてACアダプターを使用します。

**参考**

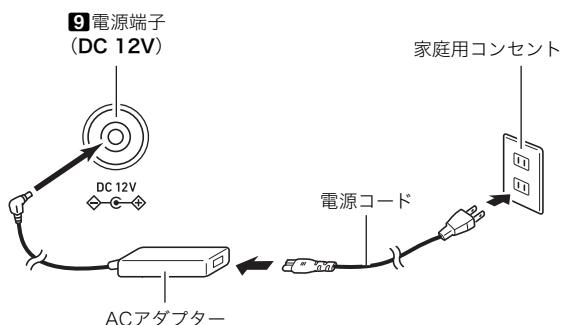
- 電源として乾電池もご使用いただけますが、基本的にはACアダプターのご使用をお勧めします。

**■ACアダプターを使う**

本機指定のACアダプター(JEITA規格・極性統一形プラグ付き)を使用してください。他のACアダプターを使用すると発煙や故障の原因になることがあります。

**ACアダプターの型式: AD-A12150LW  
(JEITA Standard plug)**

ACアダプターの接続には、下図のように付属の電源コードをご使用ください。

**重要**

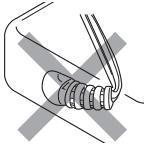
- 本機付属のACアダプター(JEITA規格・極性統一形プラグ付き)は、本機にのみご使用ください。他の機器への接続は絶対に行わないでください。故障の原因となります。
- ACアダプターを差したり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。

## 本機の概要と使用前の準備

- ・コード部の断線防止のため、下記の点にご注意ください。

### <使用時>

- ・コードを強く引っ張らない
- ・コードを繰り返し引っ張らない
- ・コードの根元部分を折り曲げない

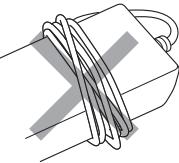


### <移動時>

- ・本体を移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから外す

### <保管時>

- ・コードは図のようにACアダプター本体に巻き付けず、束ねてまとめる



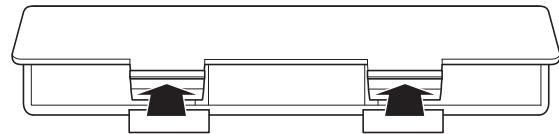
- ・本機の電源端子に、金属片や鉛筆などを入れないようにご注意ください。これらが端子に入ると、事故の原因になります。
- ・付属の電源コードは、本製品以外の電気機器には使用しないでください。
- ・ACアダプターは、使用する機器の近くにあるコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じた時には、コンセントから直ちに取り外せるようにしてください。
- ・ACアダプターは、屋内専用です。水滴のかかる場所には置かないでください。また、水の入った花瓶などをACアダプターの上にのせないでください。
- ・ACアダプターを、新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどで覆わないようにしてください。
- ・本機を長い間使用しない時には、ACアダプターをコンセントから外してください。
- ・ACアダプターは、修理することができません。破損・故障時は、新品をお買い求めください。
- ・ACアダプターの使用環境: 温度0~40°C  
湿度10%~90%RH
- ・出力形式: ◇—◎—◇

## ■乾電池を使う

### ●重要

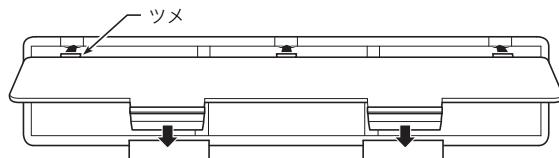
- ・乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。
- ・乾電池は市販のアルカリ乾電池をご使用ください。
- ・乾電池を入れるために本機を裏返すときは、次のことにご注意ください。
  - 本機の下に手を挟まないようご注意ください。けがの原因となります。
  - 不用意に倒すなどして、本機に衝撃を与えないでください。VOLUMEつまみや鍵盤が破損する原因となります。

1. 本機の裏側にある電池プラグをはずします。



2. 市販の単3形乾電池、6本を電池ケースに入れます。本体の印に合わせて $\oplus\ominus$ の向きを間違えないように入れてください。

3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。



## ■乾電池交換時期のお知らせ表示

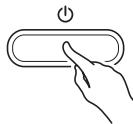
乾電池が消耗していくと、**■**(電源)ボタンのランプが点滅します。新しい乾電池と交換してください。

### ●重要

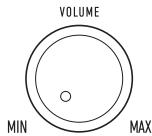
- ・電池が消耗したまま本機の使用を続けると、突然電源が切れことがあります。この場合、本機に記録しているデータが破損・消失する恐れがあります。

## 電源の入れ方、切り方

1. ①  (電源) ボタンを押して、本機の電源を入れます。



- 電源ランプが点灯し、数秒後に使用可能となります。
- ② VOLUME つまみを使って、音量を調節します。



2. 本機の電源を切るには、電源ランプが消灯するまで、①  (電源) ボタンを押し続けます。

### 参考

- ①  (電源) ボタンで電源を切ったあとも、本機は微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないとき、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。
- 本機の電源を切ると各種の設定は初期設定に戻りますが、チューニング設定(12ページ)は保持されます。

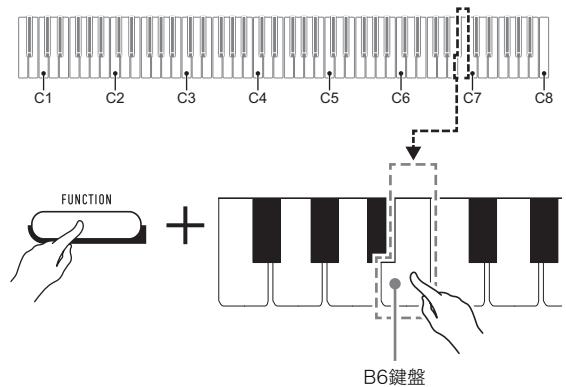
## オートパワーオフ機能

本機を何も操作せずに一定時間放置すると、無駄な電力消費を防ぐため自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、約4時間(ACアダプター使用時)/6分(電池使用時)です。

- 下記の操作で、オートパワーオフをキャンセルしたり、有効にしたりすることができます。

### ■オートパワーオフの動作を切り替えるには

1. ③FUNCTIONを押したまま、B6(オートパワーオフ)鍵盤を押します。



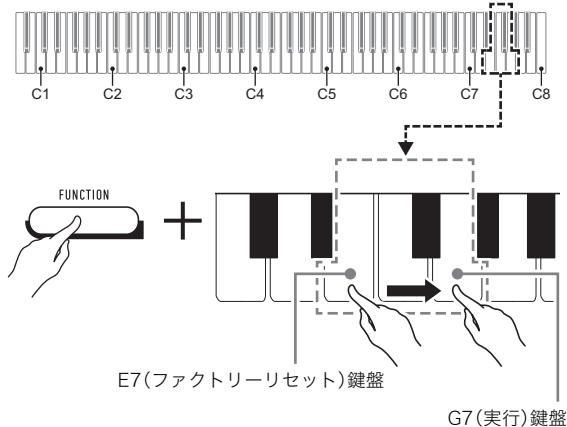
- B6鍵盤を押すたびに、ピッという通知音が鳴ります。低い音が鳴るとオートパワーオフがキャンセルされ、高い音が鳴るとオートパワーオフが有効になります。

2. 希望する設定に切り替わったら、③FUNCTIONを離します。

## 本機を工場出荷時の状態に戻す

本機のデータや設定などシステムの内容をすべて初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。



#### (1) E7(ファクトリーリセット)鍵盤を押します。

- ・ピッという通知音が鳴ります。
- ・(2)の操作と一緒に、初期化が実行されます。初期化するのをやめるには、ここで**③FUNCTION**を離してください。

#### (2) G7(実行)鍵盤を押します。

- ・操作の完了を表す通知音が鳴り(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)、初期化が開始されます。
- ・初期化には、しばらく時間がかかることがあります。
- ・初期化が完了すると、本機の電源が切れます。

### 2. ③FUNCTIONを離します。

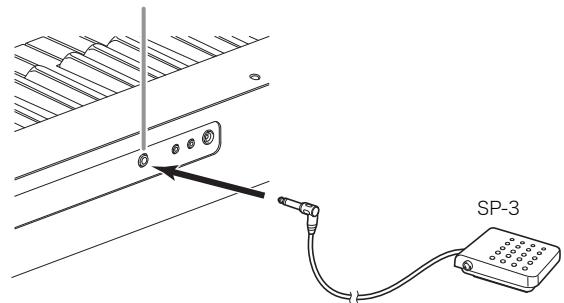
## ペダルを使う

付属のペダル(SP-3)を、**⑥DAMPER PEDAL**端子に接続して、ダンパーペダルとして使用できます。

演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤を離してもその音の余韻が残ります。

#### 【背面部】

##### **⑥DAMPER PEDAL**端子(標準ジャック)

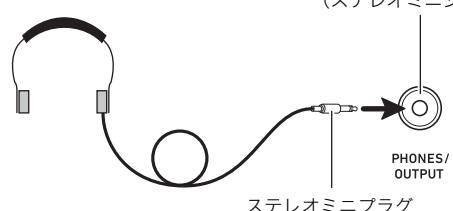


## ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。

- ・本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。

##### **⑦PHONES/OUTPUT**端子 (ステレオミニジャック)



#### 参考

- ・ヘッドホンは本製品に付属されておりません。
- ・別売または市販のヘッドホンをご使用になれます。

#### 重要

- ・大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- ・ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。プラグが残っていると演奏しても音が出ません。

## 本機の操作

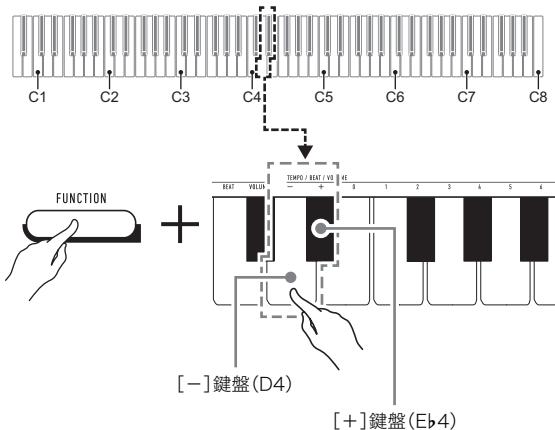
### デモ演奏を聴く

#### 1. ③FUNCTIONと④GRAND PIANOを同時に押します。



デモ専用曲(全2曲)の再生が開始されます。

- デモ演奏中、本機はデモ演奏に最適な状態に、自動的に切り替わります。
- デモ演奏中に③FUNCTIONを押したまま[−]鍵盤(D4)または[+]鍵盤(E♭4)を押すと、もう片方の曲の再生に切り替わります。



- デモ演奏は下記手順2を行うまで繰り返されます。

#### 2. デモ演奏を終了するには、③FUNCTIONまたは④GRAND PIANOを押します。

#### 参考

- デモ演奏中でも、オートパワーオフ機能が有効になっている場合は、何も操作しないと一定時間で電源が切れます。オートパワーオフ機能は、[5ページ「オートパワーオフの動作を切り替えるには」](#)の操作でキャンセルすることができます。

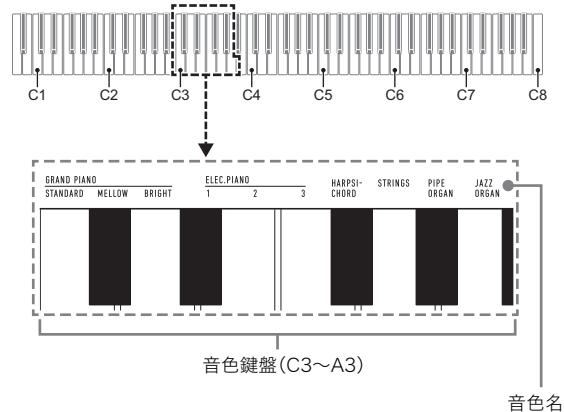
### デモ曲リスト

曲番号	曲名	音色名
1	プレリュード 「ベルガマスク組曲」より	GRAND PIANO STANDARD
2	オリジナル	ELEC.PIANO 1

## 音色を選んで弾く

内蔵の10音色から1つを選ぶか、2つを選んで同時に鳴らすことができます。

鍵盤上部に音色名が印刷されている音色鍵盤(C3～A3)を使って、音色 выбираります。



#### 参考

- 音色名の一覧は、[18ページ「音色リスト」](#)および[19ページ「鍵盤機能一覧」](#)をご参照ください。

### GRAND PIANO STANDARD音色を選ぶには

④GRAND PIANOを押します。または、[8ページ「音色を1つ選ぶには」](#)の操作で選ぶこともできます。

この音色が選ばれているときは、④GRAND PIANOボタンのランプが点灯します。



#### 参考

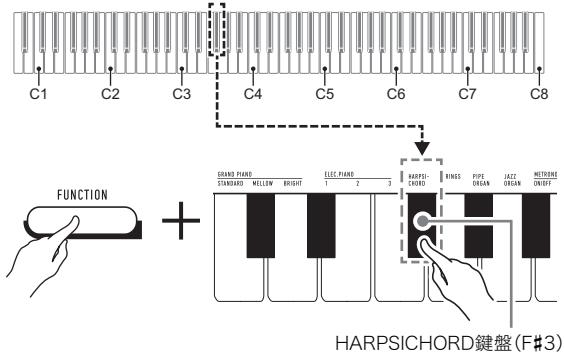
- 本機の電源を入れるたびに、GRAND PIANO STANDARD の音色が選ばれます。
- デモ演奏中は、④GRAND PIANOボタンのランプが消灯します。

## 本機の操作

### 音色を1つ選ぶには

#### 1. ③FUNCTIONを押したまま、音色鍵盤(C3～A3)の1つを押します。

- 例えはHARPSICHORDを選ぶには、③FUNCTIONを押したままHARPSICHORD鍵盤(F#3)を押します(ピッという通知音が鳴ります)。

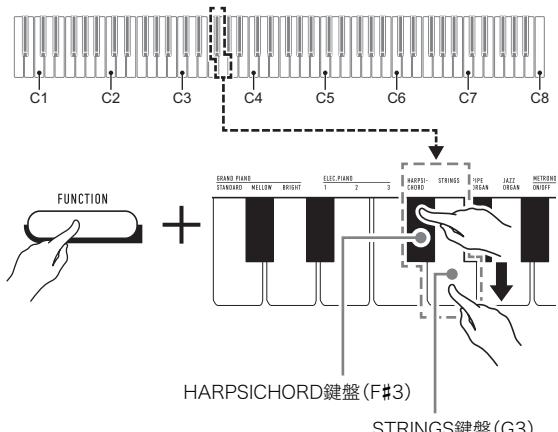


#### 2. ③FUNCTIONを離します。

### 2つの音色を重ねるには(レイヤー)

#### 1. ③FUNCTIONを押したまま、重ねて鳴らしたい2音色の音色鍵盤(C3～A3)を順番に押します。

- 例えはHARPSICHORDとSTRINGSを重ねて鳴らすには、③FUNCTIONを押したままHARPSICHORD鍵盤(F#3)を押し、続いてSTRINGS鍵盤(G3)を押します。
- 1つ目の鍵盤を押すとピッという通知音が鳴り、2つ目の鍵盤を押すと完了を表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。



#### 2. ③FUNCTIONを離します。

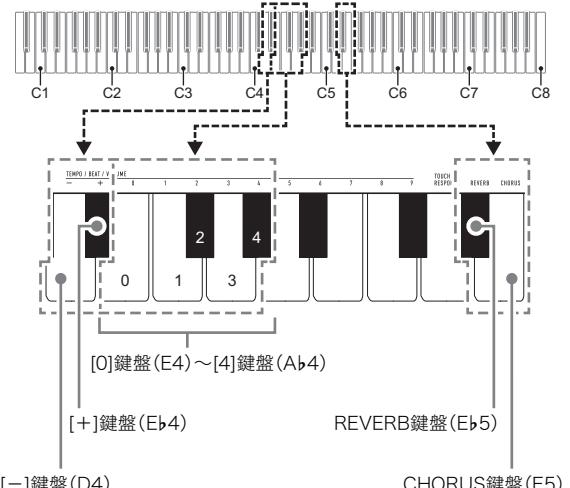
- 1つの鍵盤を押しただけで、HARPSICHORDとSTRINGSの2つの音が同時に鳴るようになります。

### 参考

- 2音色を重ねて鳴らすのをやめるには、8ページ「音色を1つ選ぶには」を実行します。または、④GRAND PIANOを押すと、GRAND PIANO STANDARDの1音色だけが鳴る状態になります。

### 音色に効果をかける(エフェクト)

本機は音の響きを変えるタイプのエフェクト(リバーブ)と、音に厚みや広がりを与えるタイプのエフェクト(コーラス)を、それぞれ数種類ずつ備えています。



### ■音の響きを変えるには(リバーブ)

#### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(A)または(B)を実行します。

(A) REVERB鍵盤(Eb5)を1回または数回押します。

- 押すたびに設定が切り替わり、切り替わった設定に応じてピッという通知音が下記のように鳴ります。

低音1回 : リバーブがオフになります。  
高音1回～高音4回 : それぞれ異なるタイプのリバーブがかかります。高音4回は、バーチャルホール※です。

※クラシックコンサートホールで演奏したような音響効果を得ることができます。

- [+]鍵盤(Eb4)または[-]鍵盤(D4)を押して、設定を切り替えることもできます。
- [+]鍵盤(Eb4)と[-]鍵盤(D4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定に切り替わります。

(B) REVERB鍵盤(Eb5)を押してから、[0]鍵盤(E4)(オフ)～[4]鍵盤(Ab4)(バーチャルホール)のいずれか1つを押します。

- 操作の完了を表す通知音が鳴り(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)、押した鍵盤に応じたリバーブの種類が選択されます。
- 範囲外の鍵盤を押すと、設定できないことを表すピッ(高音)→ピッ(低音)という通知音が鳴ります。

#### 2. ③FUNCTIONを離します。

## ■音に厚みをつけるには(コーラス)

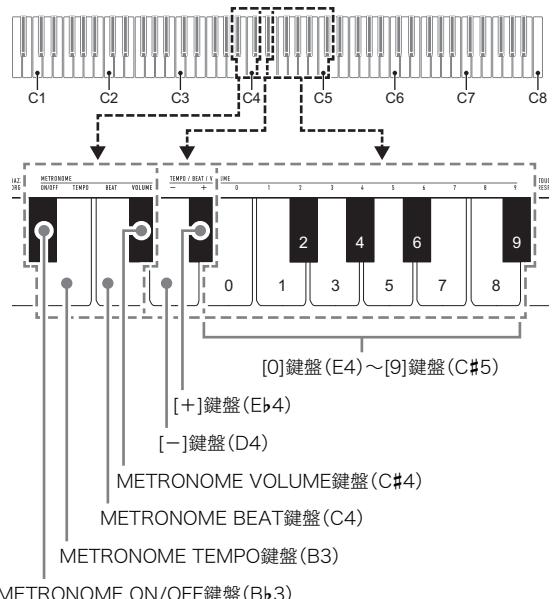
### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(A)または(B)を実行します。

- (A) CHORUS鍵盤(E5)を1回または数回押します。
- 押すたびに設定が切り替わり、切り替わった設定に応じてピッという通知音が下記のように鳴ります。
- 低音1回 : コーラスがオフになります。  
高音1回～高音4回 : それぞれ異なるタイプのコーラスがかかります。
- [+]鍵盤(E♭4)または[-]鍵盤(D4)を押して、設定を切り替えることもできます。
  - [+]鍵盤(E♭4)と[-]鍵盤(D4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定に切り替わります。
- (B) CHORUS鍵盤(E5)を押してから、[0]鍵盤(E4)(オフ)～[4]鍵盤(E♭4)(コーラス4)のいずれか1つを押します。
- 操作の完了を表す通知音が鳴り(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)、押した鍵盤に応じたコーラスの種類が選択されます。
  - 範囲外の鍵盤を押すと、設定できないことを表すピッ(高音)→ピッ(低音)という通知音が鳴ります。

### 2. ③FUNCTIONを離します。

## メトロノームを鳴らす

メトロノームは一定の間隔で音を刻みます。曲を練習するときにメトロノームを使うと、一定のテンポを保つ練習ができます。



### 参考

- メトロノームの設定(拍子、テンポ、音量)変更は、メトロノームが鳴っていても、止まっていても、実行できます。

## ■メトロノームを鳴らすには、止めるには

### 1. ③FUNCTIONを押したまま、METRONOME ON/OFF鍵盤(B♭3)を押します。

## ■メトロノームの拍子を変えるには

### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。

- (1) METRONOME BEAT鍵盤(C4)を押します。
- (2) 指定したい拍子に応じて、[0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C#5)のいずれか1つを押します。

設定	説明
0	すべての拍で弱音が鳴ります。
1	すべての拍で強調音が鳴ります。
2～9 (初期設定:4)	2拍子～9拍子です。拍頭で強調音が鳴り、他の拍では弱音が鳴ります。

- [-]鍵盤(D4)または[+]鍵盤(E♭4)を押すことで、拍子を1ずつ上げ下げすることもできます。設定値の上限または下限を超えたときは、これ以上設定を変更できないことを表すピッ(高音)→ピッ(低音)という通知音が鳴ります。
- [-]鍵盤(D4)と[+]鍵盤(E♭4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定に戻ります。

### 2. ③FUNCTIONを離します。

### ■メトロノームのテンポを変えるには

#### 参考

- メトロノームのテンポは、20～255(拍/分)の間で設定できます。テンポの数値は3桁で入力します。100(拍/分)未満のテンポを設定したいときは、数値の先頭に必ず「0」を付けてください。

### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。

- (1) METRONOME TEMPO鍵盤(B3)を押します。
- (2) [0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C#5)を使って、テンポの数値3桁を入力します。  
例えば80拍/分にしたい場合は、[0] (E4) → [8] (C5) → [0] (E4)の順に鍵盤を押してください。3桁目まで入力すると、数値が確定したことを表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。
- [-]鍵盤(D4)または[+]鍵盤(Eb4)を押すことで、テンポを1ずつ上げ下げすることもできます。
- [−]鍵盤(D4)と[+]鍵盤(Eb4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定(120拍/分)に戻ります。

### 2. ③FUNCTIONを離します。

### ■メトロノームの音量を調節するには

#### 参考

- メトロノームの音量は、0(無音)～42(最大音量)の間で調節できます。音量の数値は2桁で入力します。10未満にしたいときは、数値の先頭に必ず「0」を付けてください。

### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。

- (1) METRONOME VOLUME鍵盤(C#4)を押します。
- (2) [0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C#5)を使って、音量の数値2桁を入力します。  
例えば音量値を8にしたい場合は、[0] (E4) → [8] (C5)の順に鍵盤を押してください。2桁目まで入力すると、数値が確定したことを表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。
- [-]鍵盤(D4)または[+]鍵盤(Eb4)を押すことでも、音量を1ずつ上げ下げすることもできます。
- [−]鍵盤(D4)と[+]鍵盤(Eb4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定(36)に戻ります。

### 2. ③FUNCTIONを離します。

### スマートデバイスとリンクする (APP機能)

本機をスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと接続すると、スマートデバイスから本機を操作することができます(ピアノリモートコントローラー)。

### ■スマートデバイスに専用アプリ(CASIO MUSIC SPACE)をインストールする

下記ウェブサイトの「CASIO MUSIC SPACEダウンロード」をご覧ください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S105/>



### ■本機とスマートデバイスを接続するには

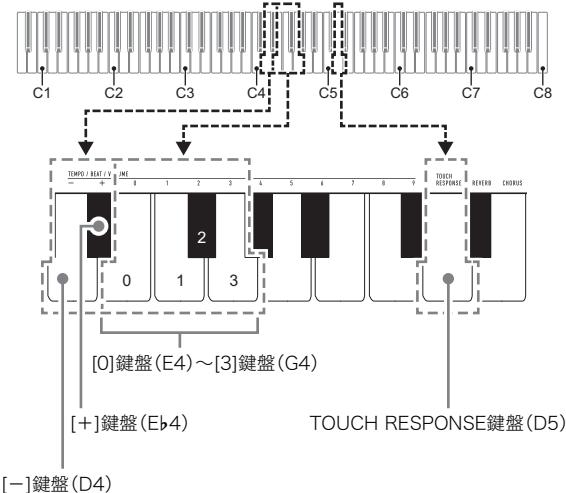
上記のアプリをお使いのスマートデバイスにインストールしたら、本機のUSB Type B端子とスマートデバイスのUSB端子を、市販のUSBケーブルで接続してください。

本機とスマートデバイスを接続した後は、各種操作をスマートデバイス上のアプリで実施します。各種操作について詳しくは、アプリの説明書をご覧ください。

## 設定を変更する

### 鍵盤の感度を変える (タッチレスポンス)

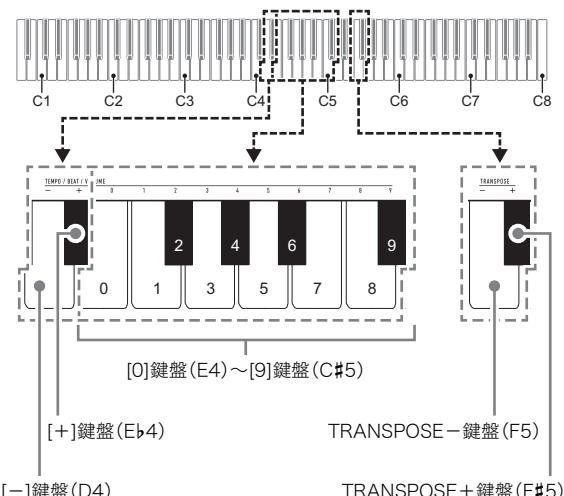
鍵盤を弾く強さに応じてどのくらい音量が変わるかを、4種類から選ぶことができます。



### 音高を半音単位で変える (トランスポーズ)

音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりすることができます。難しい調(キー)を弾き慣れた調で弾きたい場合や、歌う人の声の高さに合わせて伴奏の調を上げ下げしたいときなどに便利です。

トランスポーズ設定は、-12半音～0～+12半音の間で変更できます。



#### ■タッチレスpons設定を変えるには

##### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(A)または(B)を実行します。

(A) TOUCH RESPONSE鍵盤(D5)を押します。

- 押すたびに設定が切り替わり、切り替わった設定に応じてピッという通知音が下表のとおり鳴ります。

通知音	設定	説明
低音1回	オフ	鍵盤を弾く強弱にかかわらず、一定の音量で鳴ります。
高音1回	ライト	弱めに弾いても大きな音が出ます。
高音2回	ノーマル (初期設定)	標準的な設定です。
高音3回	ヘビー	強めに弾いて、標準の音が出ます。

- [+]键盤(E♭4)または[-]键盤(D4)を押して、設定を切り替えることもできます。
- [+]键盤(E♭4)と[-]键盤(D4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定に切り替わります。

(B) TOUCH RESPONSE鍵盤(D5)を押してから、[0]键盤(E4)(オフ)～[3]键盤(G4)(ヘビー)のいずれか1つを押します。

- 操作の完了を表す通知音が鳴り(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)、押した键盤に応じたタッチレスポンス設定に切り替わります。
- 範囲外の键盤を押すと、設定できないことを表すピッ(高音)→ピッ(低音)という通知音が鳴ります。

##### 2. ③FUNCTIONを離します。

#### ■半音ずつ上げ下げしてトランスポーズ設定を変えるには

##### 1. ③FUNCTIONを押したまま、音高を1半音下げるにはTRANSPOSE-鍵盤(F5)を、1上げるにはTRANSPOSE+鍵盤(F♯5)を押します。

- 鍵盤を押すたびに、ピッという通知音が鳴ります。トランスポーズ設定が0になったときだけ、低い音が鳴ります。
- 設定値の上限または下限を超えたときは、これ以上設定を変更できないことを表すピッ(高音)→ピッ(低音)という通知音が鳴ります。
- ここで[-]键盤(D4)または[+]键盤(E♭4)を押すことで、設定値を1ずつ上げ下げすることもできます。
- TRANSPOSE-鍵盤(F5)とTRANSPOSE+鍵盤(F♯5)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、トランスポーズ設定が0に戻ります。

##### 2. ③FUNCTIONを離します。

### ■トランスポーズ設定を数値で指定するには

#### 参考

- ・設定値が0半音～+12半音の場合は、下記操作で数値を直接入力して指定することが可能です。

#### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。

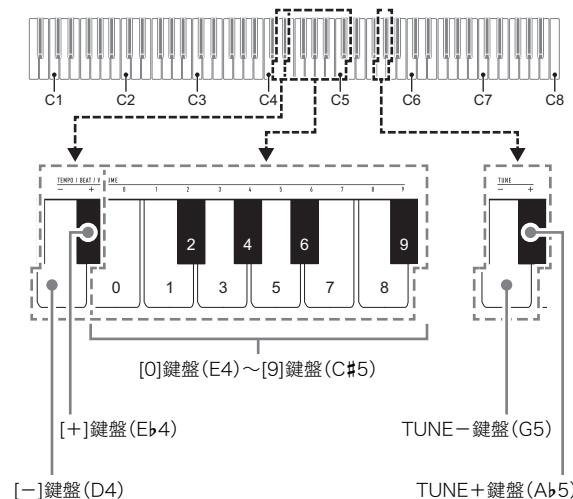
- (1) TRANSPOSEー鍵盤(F5)またはTRANSPOSE+鍵盤(F#5)を押します。
- (2) [0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C#5)を使って、トランスポーズの設定値2桁を入力します。  
例えば8半音上げたい場合は[0] (E4) → [8] (C5)の順に鍵盤を押してください。2桁目まで入力すると、数値が確定したことを表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。

#### 2. ③FUNCTIONを離します。

### 音高を微調整する(チューニング)

A4の音の周波数を設定します。周波数の設定範囲は415.5～465.9Hz(初期値440.0)です。

変更後のチューニング設定は、本機の電源を切っても保持されます。



### ■チューニング設定を変えるには

#### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(1)～(3)を実行します。

#### 参考

- ・下記(1)～(3)の操作で鍵盤を押したときに、設定値の上限または下限を超えたときは、これ以上設定を変更できないことを表すピッ(高音)→ピッ(低音)という通知音が鳴ります。

#### (1) TUNEー鍵盤(G5)またはTUNE+鍵盤(Ab5)を押します。

- ・TUNEー鍵盤(G5)を押すと音高が0.1Hz下がり、TUNE+鍵盤(Ab5)を押すと0.1Hz上がります。
- ・現在の設定状態を基準に微調整したい場合は、直接手順(3)に進んでください。

#### (2) [0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C#5)を使って、A4の周波数(Hz)を整数値で入力します。

- ・例えば442Hzにしたい場合は、[4] (Ab4) → [4] (Ab4) → [2] (F#4)の順に鍵盤を押してください。3桁目まで入力すると、数値が確定したことを表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。
- ・416～465Hzの間で指定可能です。

#### (3) 0.1Hz単位で微調整したい場合、音高を0.1Hz下げるにはTUNEー鍵盤(G5)を、0.1Hz上げるにはTUNE+鍵盤(Ab5)を押します。

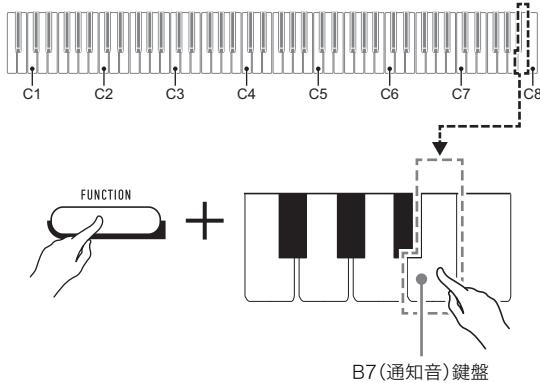
- ・鍵盤を押すたびに通知音が鳴ります。設定値が整数値になると、そのときだけ高めの通知音が鳴ります。
- ・415.5～465.9Hzの間で微調整が可能です。
- ・TUNEー鍵盤(G5)とTUNE+鍵盤(Ab5)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定に戻ります。

#### 2. ③FUNCTIONを離します。

## 通知音の設定を変える

**③FUNCTION**と鍵盤を使った操作時の通知音を、下記の操作で一時的に鳴らないようにすることができます。

### 1. ③FUNCTIONを押したまま、B7(通知音)鍵盤を押します。



- B7鍵盤を押すたびに、ピッという通知音が鳴ります。低い音は通知音が鳴らない状態、高い音は通知音が鳴る状態を表します。

### 2. 希望する設定に切り替わったら、③FUNCTIONを離します。

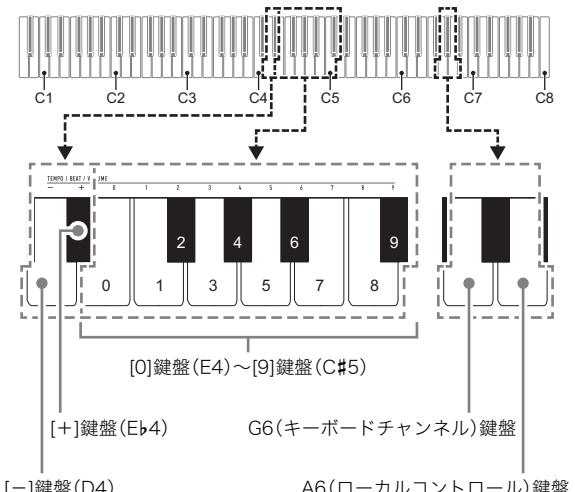
## MIDI設定を変更する

### キーボードチャンネル

本機の鍵盤演奏情報を外部機器に送信するときに使うMIDIチャンネルを、1 ch～16 chの間で設定します(初期設定:1 ch)。

### ローカルコントロール

この設定をオフに切り替えると、本機による演奏情報(MIDIデータ)は出力されますが、本機自体の音は出なくなります。これは、MIDIデータを外部機器のみに送信するための設定です(初期設定:オン)。



### ■キーボードチャンネルを変えるには

#### 1. ③FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。

- (1) G6(キーボードチャンネル)鍵盤を押します。
- (2) [0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C♯5)を使って、キーボードチャンネルの設定値2桁を入力します。

例えばキーボードチャンネルを8 chにしたい場合は、[0] (E4) → [8] (C5)の順に鍵盤を押してください。2桁目まで入力すると、数値が確定したことを表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。

- [−]鍵盤(D4)または[+]鍵盤(E♭4)を押すこと、キーボードチャンネルを1ずつ上げ下げすることができます。
- [−]鍵盤(D4)と[+]鍵盤(E♭4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定に戻ります。

#### 2. ③FUNCTIONを離します。

## ■ローカルコントロールのオン/オフを切り替えるには

1. ③FUNCTIONを押したまま、A6(ローカルコントロール)鍵盤を押します。
  - A6鍵盤を押すたびにピッという通知音が鳴り、ローカルコントロール設定がオンとオフの間で切り替わります。低い音はオフの状態、高い音はオンの状態を表します。
2. 希望する設定に切り替わったら、③FUNCTIONを離します。

## 外部機器と接続する

### オーディオ機器と接続する

市販のステレオやアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

### ■本機の音を外部機器で鳴らす

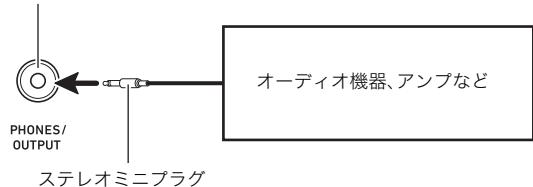
接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

#### ! 重要

- 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
- 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。

本機の⑦PHONES/OUTPUT端子(ステレオミニジャック)



### ■外部機器の音を本機で鳴らす

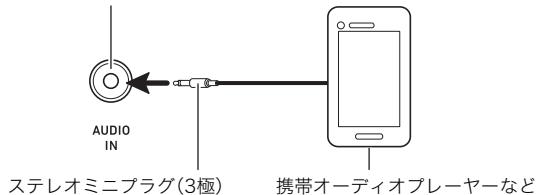
接続には市販の接続コードが使用できます。

- 本機に接続する側がステレオミニプラグ(3極)、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。
- 本機で外部機器からの入力音を鳴らす場合の音量は、外部機器側で調整してください。本機側では、音量は調整できません。

#### ! 重要

- 接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。

本機の⑧AUDIO IN端子(ステレオミニジャック)



## パソコンと接続する

本機とパソコンを接続して演奏情報(MIDIデータ)の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフトで録音したり、パソコンから本機へデータを送って音を鳴らすことができます。

### ■パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

#### ●対応OS

Windows 10 \*

Windows 11

macOS 10.15、11、12、13

\* Windows 10(32bit版、64bit版)

#### ●USB端子

### !**重要**

- 上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。

### 参考

- 対応OSについての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S105/>



### ■接続方法

### !**重要**

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。

・パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。

2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。

・ケーブルは、USB2.0または1.1のA-Bコネクタタイプを使用してください。

3. 本機の電源を入れます。

・初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。

4. パソコンの音楽ソフト(市販品)を起動させます。

5. パソコンの音楽ソフト(市販品)の設定で、MIDIデバイスとして「CASIO USB-MIDI」を選びます。

・MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

### !**重要**

- パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。

### 参考

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルをつないだままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。
- 本機のMIDIデータ送受信の詳しい仕様や、接続についての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S105/>



- MIDI関連の設定については、13ページ「MIDI設定を変更する」をご参照ください。

## 困ったときは

状況	対策
<b>付属品</b>	
梱包箱のなかに付属品が見つからない。	緩衝材の中も探してみる。
<b>電源</b>	
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ACアダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認する(<a href="#">3ページ</a>)。</li> <li>新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(<a href="#">3ページ</a>)。</li> </ul>
■□(電源)を押しても電源が入らない。	■□(電源)をしっかりと押しなおしてください。
大きな音を出すと、突然電源が切れる。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する( <a href="#">3ページ</a> )。
電源を入れたまま本機を放置してある程度の時間が経過すると、突然電源が切れる。	オートパワーオフ機能( <a href="#">5ページ</a> )が働いたことが考えられます。■□(電源)を押して、本機の電源を入れなおしてください。
<b>音</b>	
鍵盤を弾いても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量の設定(<a href="#">5ページ</a>)を変えてみる。</li> <li>本機背面の<b>PHONES/OUTPUT</b>端子にプラグが差さっていないか確認する。</li> <li>本機の電源を入れなおしてみる(<a href="#">5ページ</a>) (各種設定は初期化されます)。</li> </ul>
メトロノームの音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メトロノームの音量の設定(<a href="#">9ページ</a>)を調整する。</li> <li>本機の電源を入れなおしてみる(<a href="#">5ページ</a>) (各種設定は初期化されます)。</li> </ul>
音が鳴りっぱなしで止まらなくなつた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源を入れなおしてみる(<a href="#">5ページ</a>) (各種設定は初期化されます)。</li> <li>新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(<a href="#">3ページ</a>)。</li> </ul>
鳴らしている音が途切れてしまう。	同時に鳴っている音の数が64(音色によっては32)を超えると発生します。故障ではありません。
音量や音質が変わってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量の設定(<a href="#">5ページ</a>)を変えてみる。</li> <li>本機の電源を入れなおしてみる(<a href="#">5ページ</a>) (各種設定は初期化されます)。</li> <li>新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(<a href="#">3ページ</a>)。</li> </ul>
鍵盤を弾くタッチを変えても、出る音の音量が変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチレスポンスの設定(<a href="#">11ページ</a>)を変えてみる。</li> <li>本機の電源を入れなおしてみる(<a href="#">5ページ</a>) (各種設定は初期化されます)。</li> </ul>
特定の鍵盤の音量や音質が、他の鍵域の鍵盤と若干違つて聴こえる。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
音の高さが他の楽器とあわない(あるいは不自然に聴こえる)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランスポーズ(<a href="#">11ページ</a>)やチューニング(<a href="#">12ページ</a>)の設定を確認して調整する。</li> <li>本機の電源を入れなおしてみる(<a href="#">5ページ</a>) (各種設定は初期化されます)。</li> </ul>
音の響きが急に変わったように感じる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リバーブの設定(<a href="#">8ページ</a>)を確認して調整する。</li> <li>本機の電源を入れなおしてみる(<a href="#">5ページ</a>) (各種設定は初期化されます)。</li> </ul>
<b>パソコンとの接続</b>	
MIDIデータの送受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する(<a href="#">15ページ</a>)。</li> <li>本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。</li> </ul>

## 製品仕様

型式	CDP-S105BK
鍵盤	88鍵、ピアノ鍵盤、タッチレスポンス付き
同時発音数	最大64音
音色	10種類、レイヤー可
エフェクト	リバーブ(4種)、コーラス(4種)
メトロノーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベル音:0(オフ)、1~9(拍子)</li> <li>・ テンポ範囲:20~255</li> </ul>
デモ曲	2曲
ペダル	ダンパー
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タッチレスポンス:3種類、オフ</li> <li>・ トランスポーズ:-12~0~12半音</li> <li>・ チューニング:A4=415.5Hz~465.9Hz(初期値: 440.0Hz)、0.1Hz単位で設定可</li> </ul>
MIDI	16chマルチティンバー受信
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PHONES/OUTPUT端子: ステレオミニジャック 出力電圧 1.2V(RMS)MAX</li> <li>・ 電源端子:DC12V</li> <li>・ AUDIO IN端子: ステレオミニジャック 入力インピーダンス 10kΩ 入力感度 200mV</li> <li>・ USB端子: タイプB</li> <li>・ DAMPER PEDAL端子: 標準ジャック</li> </ul>
スピーカー	12cm×6cm(楕円形)×2(出力8W+8W)
電源	2電源方式
電池	単3形アルカリ乾電池6本使用
電池持続時間	約13時間(アルカリ乾電池使用時)
家庭用AC100V電源	ACアダプターAD-A12150LW使用
オートパワーオフ機能	約4時間後(ACアダプター使用時)/約6分後(電池使用時)、キャンセル可能
消費電力	12V ≈ 8W
サイズ	幅132.2×奥行23.2×高さ9.9cm
質量	約10.5kg(乾電池含まず)
付属品	ACアダプター(AD-A12150LW)、ペダル(SP-3)、譜面立て、クイックスタートガイド、保証書、お客様へ

・ 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

### 【別売品のご案内】

別売品の詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S105/>



## 音色リスト

音色名	プログラム チェンジ	パンク セレクト MSB
GRAND PIANO STANDARD	0	0
GRAND PIANO MELLOW	1	0
GRAND PIANO BRIGHT	2	0
ELEC.PIANO 1	3	0
ELEC.PIANO 2	4	0
ELEC.PIANO 3	5	0
HARPSICHORD	6	0
STRINGS	7	0
PIPE ORGAN	8	0
JAZZ ORGAN	9	0

## 鍵盤機能一覧

A0	音名	割り当てられている機能	鍵盤上部の印刷
	C3	音色 グランドピアノ スタンダード	GRAND PIANO STANDARD
	C#3	グランドピアノ メロー	GRAND PIANO MELLOW
	D3	グランドピアノ ブライト	GRAND PIANO BRIGHT
	E♭3	エレクトリックピアノ 1	ELEC. PIANO 1
	E3	エレクトリックピアノ 2	ELEC. PIANO 2
	F3	エレクトリックピアノ 3	ELEC. PIANO 3
	F#3	ハープシコード	HARPSICHORD
	G3	ストリングス	STRINGS
	A♭3	パイプ オルガン	PIPE ORGAN
	A3	ジャズ オルガン	JAZZ ORGAN
	B♭3	メトロノーム オン/オフ	METRONOME ON/OFF
	B3	テンポ	TEMPO
	C4	拍子	BEAT
	C#4	音量	VOLUME
	D4	テンポ/拍子/音量 —	TEMPO/BEAT/VOLUME —
	E♭4	+	+
	E4	0	0
	F4	1	1
	F#4	2	2
	G4	3	3
	A♭4	4	4
	A4	5	5
	B♭4	6	6
	B4	7	7
	C5	8	8
	C#5	9	9
	D5	タッチレスポンス	TOUCH RESPONSE
	E♭5	リバーブ	REVERB
	E5	コーラス	CHORUS
	F5	トランスポーズ —	TRANSPOSE —
	F#5	+	+
	G5	チューニング —	TUNE —
	A♭5	+	+

下記は鍵盤上部の印刷はありません。

G6	キーボードチャンネル
A6	ローカルコントロール
B6	オートパワーオフ
E7	ファクトリーリセット
G7	実行
B7	通知音

MIDI インプリメンテーション・チャート

67 71 72 73 84 91 93 100, 101	ソフト リースタイム アタックタイム プライタメント ボルタメント・コントロール リバーブ・ゼンジ: レベル コーラス・ゼンジ: レベル RPN LSB/MSB	× × × × × × × × *3 × *2, *3	○○○○○○○○○○ ○ ○ <sup>*2</sup>	○○○○○○○○○○ ○ ○ ~ 127
プログラム・チェンジ 設定可能範囲	＊＊＊＊＊	○	＊＊＊＊＊	○
エクスクリーシブ		○ <sup>*2</sup>	○ <sup>*2</sup>	○
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン		×	×	×
リアル タイム	クロック コマンド	×	×	×
その他	オール・サウンド・オフ リセット・オール・コントローラー ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング システム・リセット	× × × × × ×	○○×○○○×	
備考	*1: 音色による *2: 送受信対応RPN, システム・エクスクルーシブ・メッセージの詳細は <a href="https://support.casio.jp/email/manual/CDP-S105">MIDI Implementation</a> ( <a href="https://support.casio.jp/email/manual/CDP-S105">https://support.casio.jp/email/manual/CDP-S105</a> ) 参照 *3: 一部の操作に付隨して出力			

借考

\*1·音韻[二上二

\*1: 送信元による  
\*2: 受信対応RPNシステム・エクスクリーチ・メッセージの詳細は  
MIDI Implementation (<https://support.casio.com/manual/CDP-S05>) 参照

\*3: 一部の操作に付隨して出力

モード1：オムニ・オン、モード3：オムニ・オフ ポリ

**CASIO**<sup>®</sup>

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

2023年9月作成

MA2309-A

© 2023 CASIO COMPUTER CO., LTD.